

空沼天然林施業実験林における 北海道支所の研究

2002年まで 天然林において林分構造に応じた施業を事業規模で実験すると共に、その結果を経営に活用することを目的として、北海道森林管理局と共同で12箇所の調査区を設置し、そのうち4箇所の調査を継続担当した。

(報告例)

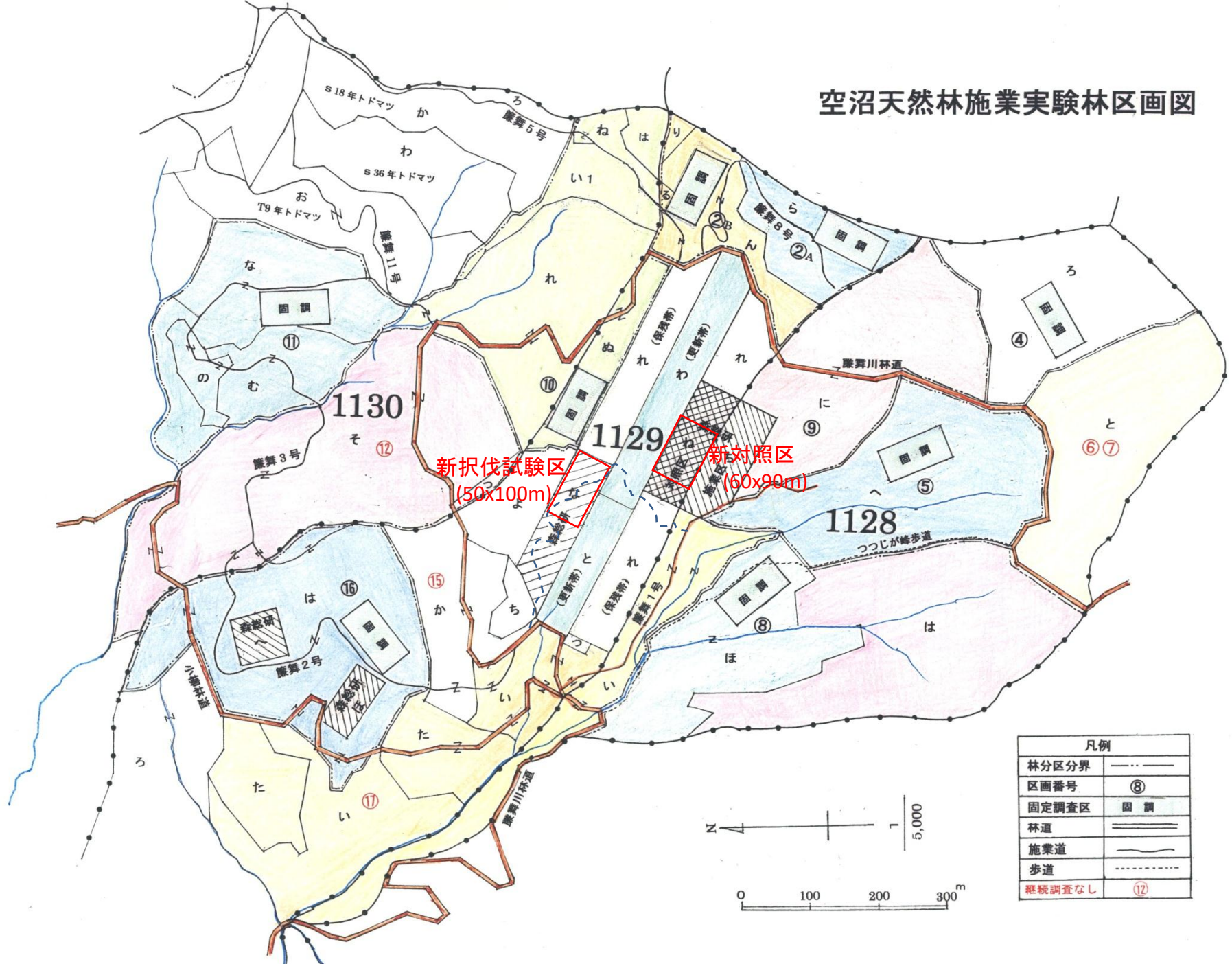
- 空沼天然林施業実験林30年の成果～空沼天然林施業実験林報(VIII) 北海道営林局
- 北海道森林管理局(本局)管内の天然林施業実験林(I・II)～空沼天然林施業実験林(1・2)、石橋聡、北方林業Vol53(6・7)

2003年以降 それまでの調査を継続すると共に、2004年1月の択伐施業を契機に択伐影響等を評価するための新しい調査区を設置し、試験を継続している。

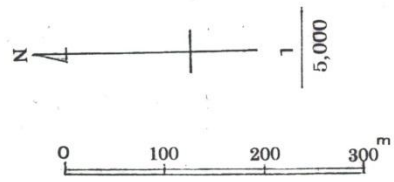
(実施試験課題等)

- 枯死木の昆虫の多様性への影響
- 択伐後の地表での更新に影響する条件
- 樹洞営巢性鳥類への影響と立ち枯れ木の管理
- 伐倒集材作業による下層木の損傷とその影響 など

空沼天然林施業実験林区画図



凡例	
林分区分界	— · — · —
区画番号	⑧
固定調査区	固 調
林道	====
施業道	~~~~
歩道	- - - -
継続調査なし	⑫



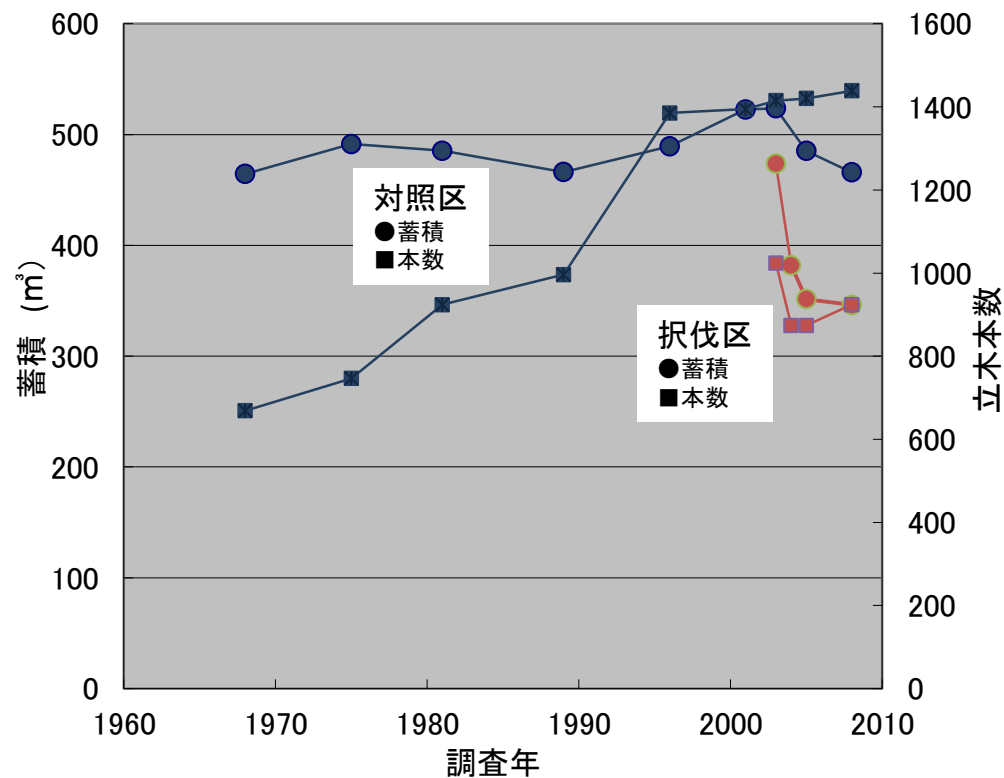
空沼実験林の対照区と新択伐区

対照区の立木本数と蓄積の変化

対照区	立木本数	蓄積	N蓄積	N率
1968	668.5	464.5	391	84.2
1975	746.3	491.5	410	83.3
1981	924.1	485.3	399	82.2
1989	996.3	466.2	373	80.0
1996	1385.2	489.5	376	76.8
2001	1394.4	522.7	393	75.2
2003	1414.8	523.7	387	73.9
2005	1420.4	485.2	344	71.0
2008	1438.9	465.9	319	68.5

新択伐区の立木本数と蓄積の変化

新択伐区	立木本数	蓄積	N蓄積	N率
2003	1024	473.7	379	80.0
2003	874	381.8	289	75.8
2005	874	351.5	255	72.4
2008	924	346.2	242	70.0



空沼実験林の立木本数と蓄積の変化

2004年1月に実施した択伐施業の概要

林小班	1128い3	1128は	1128に	1128ほ	1128へ	1128と	1129は	1129ほ	1129へ	1129な	1129ら	1130ら	合計
伐採率	17	20	27	17	22	27	17	20	20	20	27	17	
面積	9.2	0.9	5.7	4.2	3.2	6.0	8.1	0.5	0.5	1.4	1.3	2.2	43.2
本数	169	31	131	86	52	229	150	10	10	36	32	42	978
材積	295.0	41.0	255.2	156.8	78.1	313.5	320.3	29.6	31.7	89.7	69.5	88.9	1769.2

